

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		景観まちづくり			款	5	項	1	目	2	事業	5	整理番号	364		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	景観係			連絡先電話番号	3363			昨年度整理番号	359		
上位施策No・施策名		6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標			2	施策	6	計画事業	3	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区民、事業者、公共団体 杉並区の景観			内部管理		根拠法令等		(1) 景観法			(2) 都市計画法				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)										
	○景観に対する区民の意識を高め、自主的に景観づくりに取り組む風土を醸成します。 ○魅力あるまちなみを創出します。 ○みどり豊かな杉並のまちを歩くことにより、新しいまちの魅力を再発見し、まちに親しみを持つ人を増やします。					(1) 景観新聞の発行部数					(2) 景観週間の参加者数					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					成果指標					※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
○景観条例、景観計画に基づく届出や事前協議等により、みどり豊かな美しい住宅都市を将来にわたり継承する。 ○杉並景観録の発行や景観週間を開催する。 ○杉並「まち」デザイン賞として、まちの景観に貢献している建築物等を表彰し区民の景観に対する意識を高める。 ○知る区ロードのルート上にある道標や休憩所(オアシス)の維持管理を行う。 ○まち歩きのためのある区マップを発行する。					成果指標名(1)					杉並区のまちを美しいと思う人の割合						
					算定式・指標の説明等					区民意向調査による						
					成果指標名(2)											
					算定式・指標の説明等											
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	部	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0						
	活動指標(2)	2	人	2,020	2,500	1,900	2,500	2,500	2,500	100.0						
	成果指標(1)	3	%	77.0		76.7	79	78.5	80	99.4						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	3,722	5,656	4,149	6,228	6,050	3,649	25年度予算執行率(%)		97.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0				特記事項 ①第11回杉並「まち」デザイン賞の実施とある区マップの増刷により事業費が増加しています。						
	(内)委託費	7	千円	664	3,264	2,204	3,362	3,288	1,196							
	職員数	常勤職員数	8	人	4.13	3.00	3.06	4.00	4.07				3.00			
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.01	0.00	0.00				0.00			
		非常勤職員数	10	人		1.00	1.00	1.00	1.00				1.00			
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	36,757	26,100	26,622	34,520	35,124				25,890			
		(内)再任用職員分	12	千円	3,080	3,930	3,969	0	0				0			
		(内)非常勤職員分	13	千円		2,750	2,750	2,780	2,780				2,780			
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	43,559	38,436	37,490	43,528	43,954	32,319							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	8,712	7,687	7,498	8,706	8,791	6,464							
	財源	受益者負担分	16	千円	94	127	97									
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0									
都からの補助金等		18	千円	0	0	0										
その他の補助金等		19	千円	0	0	0										
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	94	127	97	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)	21	千円	43,465	38,309	37,393	43,528	43,954	32,319								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0								

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 364

25年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		景観法に基づく行為の届出	206	部
(1)主な取組	景観週間の開催	2,500	人	563
	「杉並景観録」(第18号)の発行	5,000	部	379
	「ある区マップ～西荻窪・上井草」の発行	15,000	部	826
	その他(荻外荘移築部分建物調査及び耐震診断調査業務委託ほか)			4,232
	(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	杉並区景観計画を運用し、景観法の届出と大規模建築物や区の公共施設の整備に係る事前協議を行い、杉並らしい景観づくりを着実に進めています。一方、景観に関する区民意識を高めるため、景観新聞の発行や景観週間を開催し、シンポジウムや展示等の普及啓発に取り組んでいます。また、区民がまち歩きを通してまちの魅力を再発見できるよう、まち歩きガイドとなる杉並ある区マップ～西荻窪・上井草編～を発行しました。荻外荘については、有識者等による「荻外荘周辺まちづくり懇談会」を設置し、整備や利活用などの意見をまとめました。		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初から景観の普及啓発を主な事業として取り組んできましたが、平成21年度に景観行政団体となり、平成22年6月から杉並区景観計画の運用を開始し、景観法に基づく届出制度による景観づくりを始めました。景観は、杉並のまちに魅力を感じる指標の一つとして考えられ、区民意向調査で杉並区のまちを美しいと思う人の割合も7割を超え、着実に増加しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	開発などで失われるみどりや取り壊される歴史的建物、伐採される貴重な樹木など失われていくまちなみの保全が求められるとともに、派手な色彩の建物や機能性、経済性重視のマンションの出現から守り良好なまちなみの形成のための景観誘導が求められています。また、厳しい規制による景観の誘導より、区民、事業者が自ら景観に関心を持ち、自主的に景観づくりに取り組む風土を醸成していくことが期待されます。
	今後の予測	杉並区景観計画が不動産事業者だけではなく、一般区民にも広く知れわたるにつれ、区民のまちなみの美しさや景観に対する意識が高くなり、それとともに景観に対する要望も増えていくと考えます。
評価と課題	景観計画の運用開始後、延713件の届出があり、事前協議を125件行いました。これにより、事業者や区職員にも施設整備の際には、景観に配慮する姿勢が徐々に浸透してきたと考えます。今後は、モデル地区等を照準に景観形成重点地区の新規指定を目指すとともに、景観重要建造物の指定と保全制度の仕組みを検討する必要があります。荻外荘については、利活用を考慮した保存・修復を行い、貴重な景観資源として将来に継承していくことが重要です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	景観法に基づく届出制度の運用により、美しいまちなみづくりに効果を上げています。しかし、建物の外壁の塗替えなど行為内容によっては届出しないケースが見受けられるため、今後は定期的な広報やHP等で周知を図っていきます。また、区民一人ひとりの景観に対する意識を高めるため、継続して普及啓発事業を進めることで、みどり豊かな美しい住宅都市を将来へ継承していきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		都市再生事業			款	5	項	1	目	2	事業	9	整理番号	368		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	荻窪まちづくり担当			連絡先電話番号	3382			昨年度整理番号	363		
上位施策No・施策名		6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	23	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		2	施策	6	計画事業	1	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	荻窪駅周辺地区			内部管理		根拠法令等		(1) 都市計画法 (2) 杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								活動指標名(式)							
	○杉並区が「住宅都市」としての価値をさらに高めていくためには、区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区の活性化が不可欠である。地域特性を活かした商業の活性化や生活利便性の向上などを図り、にぎわいや魅力あるまちづくりを進める。								(1) 地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数 (2) 普及啓発活動等の回数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
○「住宅都市杉並」にふさわしい荻窪駅周辺地区のまちづくりを進めるために、まちの課題等を整理・共有するとともに、地域住民との協働により、まちづくりに対する機運の醸成を図り、将来のあるべき姿を描くための検討を進める。								成果指標名(1) 駅周辺まちづくり計画等の策定数								
○地域住民との協働により、荻窪駅周辺地区の特性を活かしたまちづくりを進めていく。								算定式・指標の説明等 平成23年度からの累計策定数								
○南北分断の解消と都市機能のさらなる強化に向けて幅広い観点から検討を行い、国や都、鉄道事業者等と協議・調整をしながら、まちづくりを進める。								成果指標名(2)								
								算定式・指標の説明等								
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	回	8	30	36	30	30	30	100.0						
	活動指標(2)	2	回	2	2	8	1	3	4	300.0						
	成果指標(1)	3	件	0	1	0	1	0	1	0.0						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,862	16,313	14,561	13,201	12,129	12,947	25年度予算執行率(%)		91.9				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ※平成23年度からの新規事業であり、成果を出すには時間がかかります。荻窪駅周辺まちづくり計画等の策定数を成果指標としていますが、平成26年度までに1件の策定が目標です。						
	(内)委託費	7	千円	4,988	10,427	9,686	10,262	9,772	10,076							
	職員数	常勤職員数	8	人	3.14	3.00	3.14	3.00	3.33							3.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00							1.00
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00							0.00
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	27,946	26,100	27,318	25,890	28,738							25,890
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	3,860	3,860							3,860
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0							0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	33,808	42,413	41,879	42,951	44,727	42,697							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	4,226,000	1,413,767	1,163,306	1,431,700	1,490,900	1,423,233							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0							0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0							0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0							0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	33,808	42,413	41,879	42,951	44,727	42,697							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 368

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		荻窪まちづくり会議運営等支援業務委託	1	件	9,145
		荻窪まちづくりシンポジウム	1	回	662
		その他(管理経費、消耗品購入費ほか)			2,322

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成23年度は、これまでの荻窪駅周辺まちづくりのあり方を検証するとともに、区の中心拠点として活性化を図るためのまちづくりの方向性や事業手法等を検討する「荻窪駅周辺まちづくり基礎調査」を行いました。</p> <p>平成24年度は、多くの区民から意見を頂くための区民意見交換会や荻窪まちづくり懇談会の開催、まちづくりの課題解決のヒントとするためのアイデアコンペなどを開催しました。</p> <p>平成25年度は、荻窪駅周辺地区の住民の方々が主体となった「荻窪まちづくり会議」の設立とその運営等を区が支援することで、住民主体によるまちづくり将来構想の策定に向けて、まちの特性や課題の検討と共有化が進められました。</p>
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>鉄道や幹線道路による市街地の分断解消や、駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上、買い物や飲食の機会の一箇所集中によるまちの回遊性の不足などが挙げられる一方、良好な住環境については、維持・保全を求める声も多くあります。</p>
	今後の予測	<p>今後は、「住宅都市杉並」にふさわしい荻窪駅周辺地区のあるべき姿を描き出すため、荻窪の地域に根ざした歴史や伝統といった良いところは継承しつつ、一方で時代の変化を捉えて新しいまちづくりに挑戦するなど、地域住民や関係事業者等の声を聞きながら、幅広い観点からハード・ソフトの両施策を駆使し、まちづくりを進めていく必要があります。そのために、区は引き続き、荻窪駅周辺地区の住民の方々が主体となった「荻窪まちづくり会議」の運営等を支援し、住民主体によるまちづくり将来構想の策定を目指します。</p>
評価と課題	<p>区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺のまちづくりを進めるためには、地域住民との連携が欠かせません。そのため、「荻窪まちづくり会議」におけるまちづくり構想の検討・策定の支援等を通じて、地域住民等とまちの将来像を共有しながら、荻窪駅周辺まちづくりを着実に進めていきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	<p>地域住民主体の「荻窪まちづくり会議」における、まちづくり将来構想の検討・策定の支援を通じて、まちの課題等の共有化を図ってきました。今後、まちづくり将来構想の策定に向けて、より幅広い方々の意見の反映を図るため、当会議の活動周知の支援の充実等が必要です。</p>					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	多心型まちづくりの推進				款	5	項	1	目	2	事業	10	整理番号	369	
担当部課名	都市整備部まちづくり推進課				係名	拠点整備係			連絡先電話番号	3383		昨年度整理番号	364		
上位施策No・施策名	6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり								予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	2	施策	6	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区民及び駅周辺地域来訪者 再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者			内部管理										
					施設維持管理	根拠法令等	(1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区JR荻窪駅西口バリアフリー整備事業補助金交付要綱								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○駅周辺地域を中心に、地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進めます。 ○民間再開発事業等を支援します。				活動指標名(式)	(1) 駅周辺整備に関する相談・指導回数 (2) 駅周辺の現地調査・打合せ回数								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○ハード施策とソフト施策の連携の強化により、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。 ○駅周辺の交通利便性・安全性を高めるための施設整備を推進する。 ○駅に直結する自由通路、付属するエレベーター等を維持する。 ○まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 ○助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
					成果指標名(1)	駅周辺整備等の事業数									
					算定式・指標の説明等										
					成果指標名(2)	助成事業の完了箇所数									
					算定式・指標の説明等										
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	回	57	100	60	100	75	100	75.0					
	活動指標(2)	2	回	52	50	54	70	65	70	92.9					
	成果指標(1)	3	か所	1	1	1	1	0	2	0.0					
	成果指標(2)	4	か所	1	1	1	1	1	0	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,701	10,768	7,873	64,762	53,964	9,844	25年度予算執行率(%) 83.3					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・荻窪駅西口改札内の快速線ホームのエレベーター設置工事の補助を行った。 補助金額49,542千円 ・上記の補助申請額が、57,960→49,542千円に変更されたため差額が執行残となった。					
	(内)委託費	7	千円	2,504	2,114	1,635	4,178	3,938	3,664						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.55	1.00	1.50	3.00	3.19		4.00				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	13,795	8,700	13,050	25,890	27,530		34,520				
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0				
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	16,496	19,468	20,923	90,652	81,494	44,364						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	289,404	194,680	348,717	906,520	1,086,587	443,640						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	30,000	22,936						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	30,000	22,936	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	16,496	19,468	20,923	60,652	58,558	44,364						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 369

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		荻窪駅西口改札内の快速線ホームのエレベーター設置工事補助	1	件	49,542
		誘導サイン設置工事(高円寺北一丁目)	1	件	1,549
		西荻窪平和児童遊園外1園における公園利用実態調査	1	件	945
		その他(エレベーター保守管理委託、事務費ほか)			1,928

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初は、駅舎の橋上化や市街地再開発事業等に代表される駅周辺整備を事業の中心にしていた。現在は、それに加えハード・ソフト連携まちづくりの取組により、各地区の特性や課題に応じたまちづくりを進めています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	再開発の事業施行者からは、事業推進に向けての助成の拡充を望まれています。その一方で、近隣住民からは、再開発により、住環境が著しく変化することが予想されるため、周辺住宅地等に及ぼす影響が大きいとの意見があります。
	今後の予測	ハード・ソフト連携まちづくりの活動により、各地域の特性や課題に応じた取組が実施され、地域住民と連携した個性的なまちづくりが実現されます。
評価と課題	<p>JR東日本による荻窪駅西口快速線内のエレベーターの設置工事を支援し、年度内に工事を完了させることで、荻窪駅の主要2経路のバリアフリー化を実現し、駅利用者等の利便性の向上に寄与しました。</p> <p>ハード・ソフト連携まちづくりについては、各まちづくりチームの活動により、地域の要望等に応じてきました。今後は、ハード・ソフト連携の取組を一層強化し、様々な地域の課題等に機敏に対処していきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	